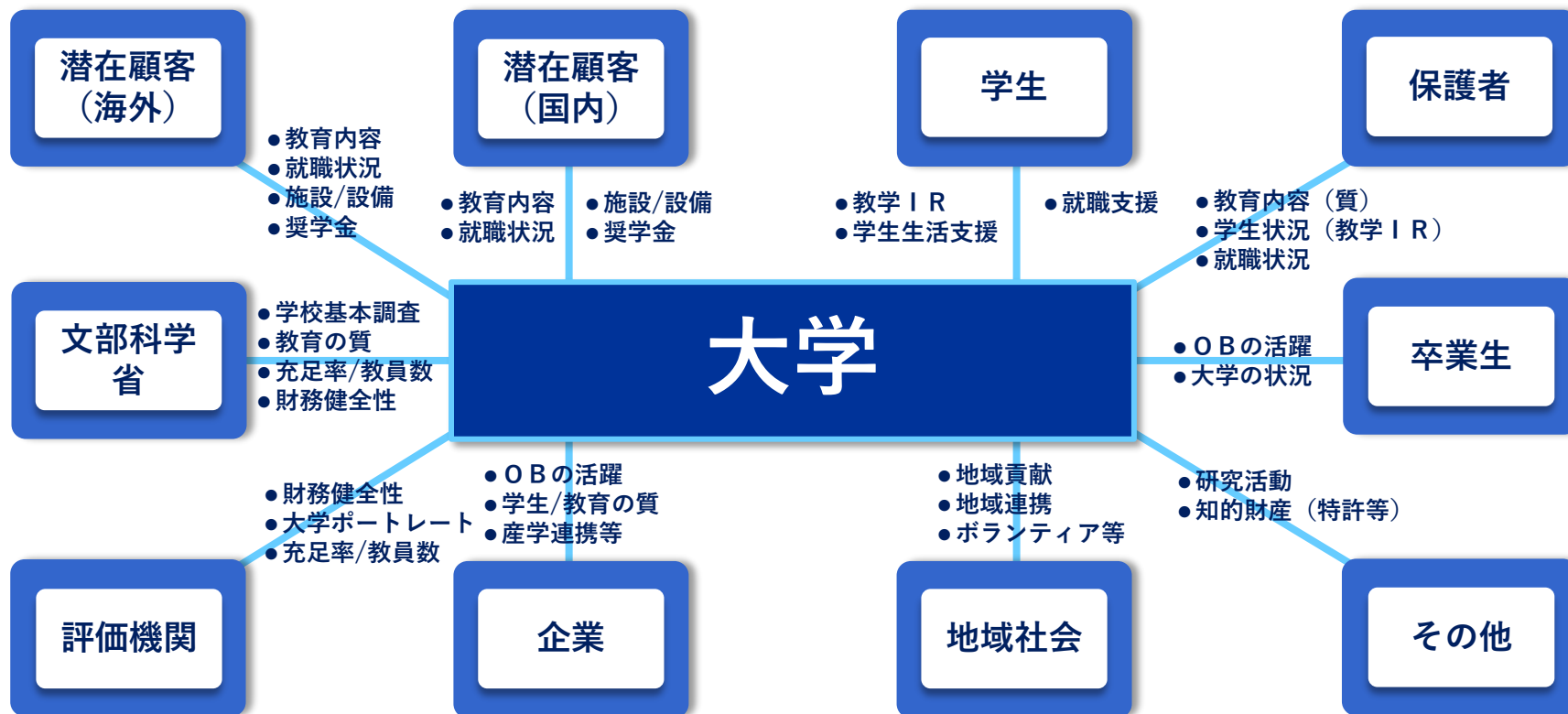


1. 大学を取り巻く外部環境に関して（弊社の認識）

- 大学を取り巻く環境は年々変化しており、変化に対する適切な対応を取る一方で、関連するステークホルダーへの最適な情報発信（大学側の状況をわかりやすく説明することや、大学側にとって効果的な開示の両面等）が必要となってきた状況であると認識します。
- なお、大学を取り巻くステークホルダーは多岐に渡るため、これらのステークホルダーを意識し、それぞれにおいて適切な対応（明快な説明責任と効果的なアピール等も必要と考えます）。

大学を取り巻く主なステークホルダーと主な情報群



2. 大学を取り巻く内部環境に関して（弊社の認識）

- 一方、大学内部へと視点を変えると、それぞれの部門ごとに適切な対応はとられているものの、個別最適（サイロ型）となっている大学が大半であり、各部門の連携不足等、大学全体としての統一した全体最適化を図る余地があるものと認識します。

学内における主な部門と取り扱う主な情報群

学生支援部門

- 学生状況（精神状況等）
- 奨学金

教務部門

- 出席状況
- 履修状況
- 成績状況

入試部門

- 志願者
- 教育内容
- 潜在顧客向け活動

就職部門

- 教育内容
- 就職状況
- 卒業生の状況

財務部門

- 財務会計
- 管理会計

個別最適化による弊害（課題）

- **情報管轄部門の点在**
⇒ 全学で見た場合の連携の欠如
- **各部門内における個別最適**
⇒ 全学で見た場合の重複作業の発生
⇒ 本来業務以外の負荷増大
- **将来的な環境変化への対応**
⇒ 個別対応による統一的な意思決定の欠如

知的財産部門

- 特許状況
- 研究活動

情報システム部門

- 学内システム
- 学内データ

総務部門

- 文科省/認定機関向け情報
- 施設/設備/充足率
- 地域連携/産学連携

教員（教授会）

- 教育内容
- 研究活動
- 産学連携
- 地域連携

人事部門（教員関連）

- 教員評価
- 教員労務

人事部門（職員関連）

- 職員評価
- 職員労務

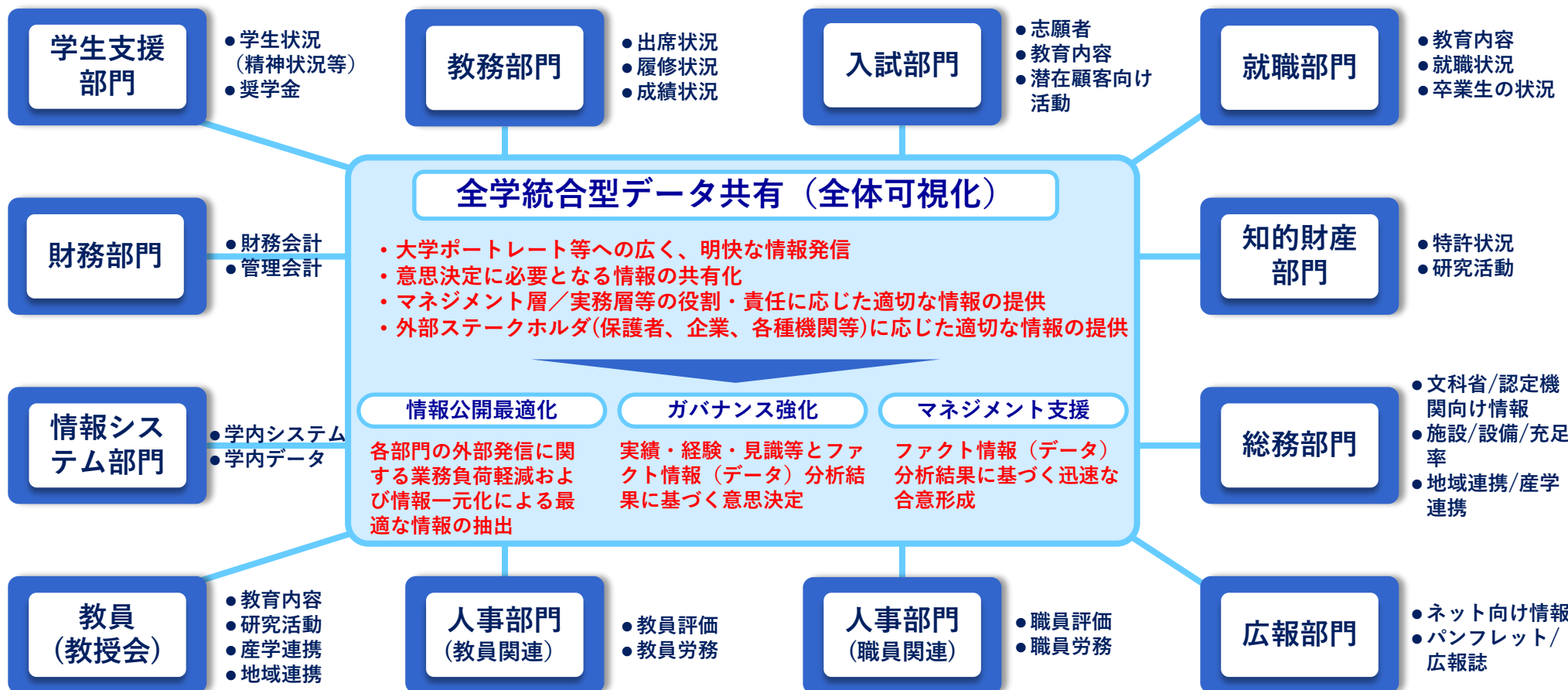
広報部門

- ネット向け情報
- パンフレット/広報誌

3. 情報統合と管轄組織による全体最適化（弊社の考え）

- 各部門による個別最適の課題等を解決し、全学統一化された意思決定を可能とするため、弊社は、学内情報の統合および管轄組織による全体最適化を提案します。また、大学の状況を明確かつ分かりやすい形での積極的かつ統制された情報の発信が可能になるものと考えます。

学内における主な部門と取り扱う主な情報群



【提案例1】 教学データマネジメント・プラットフォーム構築にあたっての進め方に関して(案)

- 全学統合したIRデータベースという主旨を踏まえ、構築にあたっての各ステークホルダとの役割分担については、IRデータベースを主管する組織において、全てを統制(コントロール)する必要があります。

考え方

IRデータベースは多数のステークホルダが関わる事になる

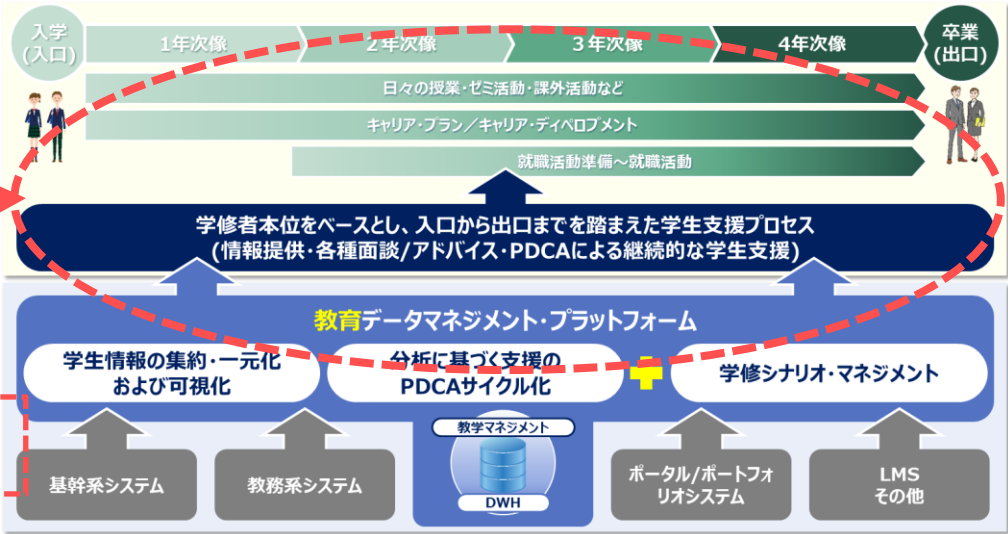
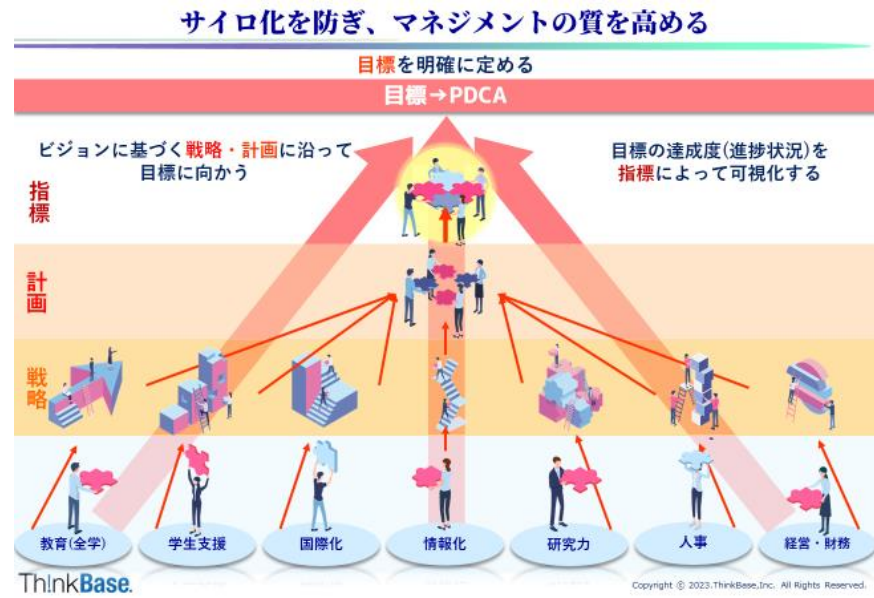


放っておくと、似た様なDWHやデータレイクが乱立する



IRに関するDWHやデータレイクは一元管理が望ましい

一貫して主管部門による統制が必要
(ガバナンス/コントロール)



【提案例2】 教学データマネジメント・プラットフォーム構築にあたっての進め方に関して(案)

- IRデータベースを主管する組織において、関連システムとの調整・作業等を統括すべきであると考えます。

各システム主管部局及び業務受託者

「誰が責任を持つか」 = 各部局
「誰が使うか」 「誰の為のDBか」 = 各部局

IRデータベース要件に基づく各種対応

教務系

情報系

LMS

就職系

その他

- データ項目の提示/提案
- インターフェース定義/提案
- 各システム側の制約等の提示
- データレイク/データマート構築にあたっての提案
- 各システム側におけるインターフェース機能の構築/テスト実行
- (必要に応じて)IRデータベースへのデータ移行時の作業実行

IR主管部局

「誰が責任を持つか」 = IR業務担当部局
「誰が使うか」 「誰の為のDBか」 = IR業務担当部局

IRデータベース(一元化)要件検討及び決定

データレイク*1

DWH/データマート*2

- データレイク要件の検討及び決定
- DWH/データマート要件の検討及び決定

*1) データレイク

各システムからの生データを蓄積したもの

例) e-ラーニングにおける学習ログ、教学システムの成績データ等

関連システム側への要件の提示

- 各システム側へのデータ要件提示
- 各システム側へのインターフェース要件提示
- 各システム側からの提案内容検討及び判断・決定
- テスト主管(テスト計画策定/シナリオ策定/テスト実行コントロール)
- (必要に応じて)移行主管(移行計画策定/移行実行時コントロール)※移行自体は発生しない想定であるが、データ移行が必要な場合は、統括する。

*2) DWH/データマート

各種分析の為に、生データを集計/加工等したもの

例) 学習ログの学部/学科別集計データ、成績の学部/学科別集計データ等

【提案例3】 システム構成における責任分界について(案)

- IRの為のデータレイクやDWHに関する検討や要件定義については、IRデータベースを主管する組織において、主導（調整）の上で推進すべきであると考えます。

